



イニシアティブゲーム

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・グループで取り組むことによって仲間意識を高めることができます。
- ・グループ内での意思疎通を図り、協力する態度を養うことができます。
- ・課題を解決することでよろこびや満足感を味わうことができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 屋内プログラムなど

2 活動の概要

エリア内に設定された様々な課題をグループで協力しながら解決する活動です。それぞれの課題を解決することも大切ですが、むしろ、その課題に取り組む過程が重要です。

(1) 人数 160人以内

※一度に実施できるのは80人程度のため、他のプログラムと組み合わせて実施することが望ましい。

(2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生

(3) 期間 4月下旬～11月

(4) 時間 2時間（説明30分＋活動90分）

(5) 場所 自然の家活動エリア

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<危険物処理班>

3 準備物

| | |
|------|--|
| 団体 | 救急薬品 |
| 個人 | 汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装 |
| 自然の家 | 鉛筆、カードホルダー、ピブス、ふりかえりカード、用具一式、スズメバチ用殺虫剤、無線機（8台） |

4 引率者の役割分担

| 役割名 | 内容 |
|----------|-------------------------------------|
| 代表責任者 | 1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。 |
| スタート・ゴール | 1～2名。玄関前でグループのスタートとゴールの確認をする。 |
| ポイント担当 | 5名。各ポイントで、課題の出題を行い、計時、安全管理、活動補助をする。 |
| パトロール | 数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。 |



<ナビゲーション>



<日本列島>



<ラインナップ>

5 活動の流れ

| | 内 容 |
|-----|---|
| 説 明 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、安全管理、服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手）について説明 ・各グループに活動順番について説明 |
| 準 備 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆、カードホルダー、ピプス、ふりかえりカードの貸出、配付 |
| 活 動 | <ul style="list-style-type: none"> ・各ポイントから活動順番に従って同時にスタート。 ・パトロール係は巡回指導 ・各ポイントで課題解決の方法を見つけ出す。（協力が大切！） <ol style="list-style-type: none"> ① 危険物処理班 ② ジャンボシーソー ③ 日本列島 ④ ナビゲーション ⑤ ラインナップ ・全員のゴールを確認する。 |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり ・借用物品を返却（無線機は事務室へ返却） |

6 実施上の留意点

- ・課題の目的やルールについて把握しておく。
- ・グループ内で課題に取り組む過程が重要なので、ポイント担当者は行き過ぎた助言などはしないようにする。ただし、危険と判断した際は活動を一旦中止させる。
- ・グループのレベルに合わせた内容の課題で行う。

7 安全に実施するためのポイント

- ・「ナビゲーション」では目隠しをしておいた活動となる。極度に不安を感じる参加者に対しては無理に実施させない。眼鏡をかけている参加者は、破損を防ぐため必ず外して活動する。
- ・「ラインナップ」では、道路側を向いて並ぶ。
- ・危険な動植物（ヘビ・ハチ・ウルシ等）への対処方法について確認する。
- ・熱中症対策のため、十分な水分補給をさせる。（途中の休憩必須）

8 エリア地図

